

2017年3月期 決算説明会

2017年5月25日

株式会社アイロムグループ



1. 2017年3月期結果と2018年3月期見通し
2. 2017年3月期決算報告
3. 各事業概況

SMO、CRO、メディカルサポート、先端医療事業

4. 2018年3月期経営方針および業績予想
5. まとめ

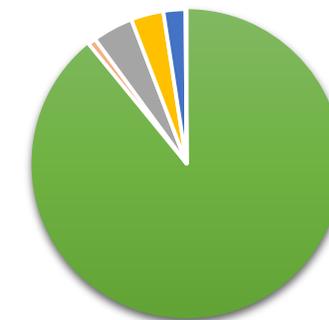
※本資料では、事業区分をP3記載の通り「SMO事業」「CRO事業」「メディカルサポート事業」「先端医療事業」の4区分でお示していますが、2017年3月期の決算短信・有価証券報告書等では、会計上のセグメント区分（SMO事業、メディカルサポート事業、新規事業）で開示しています。なお、2018年3月期の業績予想につきましては、「SMO事業」「CRO事業」「メディカルサポート事業」「先端医療事業」の4区分で公表しております。

アイロムグループ概要

(2017年3月31日現在)

商号	株式会社アイロムグループ
設立	1997年4月9日
本社所在地	東京都千代田区富士見2-10-2 飯田橋グラン・ブルーム5F・6F
代表取締役社長	森 豊隆
市場	東京証券取引所第一部(コード:2372)
資本金	33億84百万円
従業員数	連結:391名 ⇒ 675名 (株エシックの従業員284名を含む)

所有者別株主分布



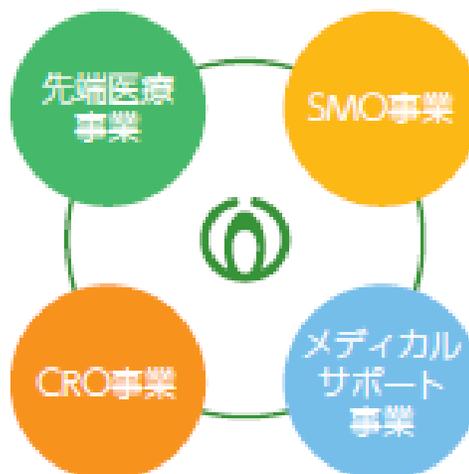
- 個人その他 (89.16%)
- 金融機関 (4.25%)
- 外国人 (2.30%)
- その他国内法人 (0.83%)
- 証券会社 (3.40%)
- 自己株式 (0.11%)

再生医療・
遺伝子創薬技術の提供

(株)IDファーマ

国内外製薬企業の
臨床試験支援

(株)アイクロス / (株)アイクロスジャパン
CMAX Clinical Research Pty Ltd



臨床試験を実施する
医療機関の支援

(株)アイロム / (株)アイロムCS
(株)アイロムNA / MCフィールズ(株)

クリニックモールの
開設・運営

(株)アイロムPM

2017年6月1日以降
(株)エシック

- 戦略投資の成果が収益化
- 主力事業であるSMO事業が好調
- 今後の事業発展に向けた更なる投資を実施

10
月

GMPベクター製造施設・CPC竣工（2017年4月から本格稼働開始）



12
月

南オーストラリア州の臨床試験施設のCMAXをグループ化



2017年
3月

(株)エシックと簡易株式交換契約を締結



2017年3月期の結果と2018年3月期の見通し

(単位:百万円)	計画 実績	2017年3月期		2018年3月期	
		売上高 (セグメント利益)	結果	課題	計画
SMO	3,600 (500)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上増加、利益率の大幅改善 ■ がんや難治性疾患等の受託が好調 ■ エシックのグループ化を発表 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 体制、人材の強化 ■ エシックとのシナジーの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エシックとの協業による高度専門医療領域支援の更なる拡大と品質強化 ■ CMAXからのグローバルレベルの臨床試験ノウハウの取得 	5,000 (1,000)
	3,611 (865)				
メディカルサポート	2,800 (700)	<ul style="list-style-type: none"> ■ モール事業が堅調に推移 ■ 販売用不動産に関わるプロジェクトの推進(規模拡大により完了延期) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 販売用不動産に関わるプロジェクトの早期完了 	<ul style="list-style-type: none"> ■ モール事業の拡大 ■ 販売用不動産に関わるプロジェクトの完了 	2,850 (450)
	540 (87)				
新規事業	780 (100)	CRO <ul style="list-style-type: none"> ■ 【国内】データマネジメントやアカデミア臨床試験支援等が順調に推移 ■ 【海外】CMAXのグループ化 	CRO <ul style="list-style-type: none"> ■ 【国内】開発動向や製薬企業等の需要に沿う事業展開 ■ 【海外】CMAXグループ化による収益拡大と事業拡大 	CRO <ul style="list-style-type: none"> ■ 【国内】グループシナジーを活かした支援領域の拡大 ■ 【海外】CMAXとの連携によるアジア・オセアニア地域への進出 	1,230 (130)
	723 (▲5)	先端医療 <ul style="list-style-type: none"> ■ GMPベクター製造施設・CPCの完成 ■ 虚血肢治療製剤の臨床試験推進 ■ iPS細胞作製技術等の積極的なライセンス活動の実施 	先端医療 <ul style="list-style-type: none"> ■ GMPベクター製造施設・CPCの受託に向けた営業強化 	先端医療 <ul style="list-style-type: none"> ■ GMPベクター製造施設・CPCにおける継続的な受託獲得 ■ iPS細胞作製技術等のライセンス活動 ■ 虚血肢治療製剤の臨床試験促進 	420 (40)
全般	7,200 (600)	<ul style="list-style-type: none"> ■ SMOの高収益化により、連結収益が大幅に改善 	<ul style="list-style-type: none"> ■ M&A後の迅速な経営統合とシナジーの追求 ■ 業容拡大に見合った人員増 	<ul style="list-style-type: none"> ■ グループ各社の連携と組織体制強化 ■ グローバル展開に向けた人材確保と人材育成 	9,500 (800)
	4,890 (212)				

※1. 業績見通しは、各事業とも現時点で契約をしているものや、契約交渉が進んでいるもののうち過去の経験上受注が見込める案件・材料をベースに部門ごとに数字を積み上げ見通しを立てています。

※2. 売上高は、内部取引を控除しています。

1. 2017年3月期結果と2018年3月期見通し

2. **2017年3月期決算報告**

3. 各事業概況

SMO、CRO、メディカルサポート、先端医療事業

4. 2018年3月期経営方針および業績予想

5. まとめ

- 売上高は4,890百万円(前期比+18.9%)
- メディカルサポート事業における販売用不動産に関わるプロジェクトが拡大し、完了が来期に延期。
- SMO事業の収益化が大きく貢献し、利益面は対前期で大幅に改善

(単位:百万円)

	2016/3期 実績	2017/3期 期初予想	2017/3期 実績	予想比 増減率	前期比 増減率
売上高	4,114	7,200	4,890	▲32.0%	18.9%
営業利益 又は損失(▲)	▲480	600	212	▲64.6%	-
経常利益 又は損失(▲)	▲807	700	272	▲61.1%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失(▲)	▲868	500	204	▲59.2%	-

2017年3月期 セグメント別損益

- SMO事業の売上伸張に加え、利益率の大幅アップ(営業利益率23.9%)
- SMO事業、メディカルサポート事業、新規事業において売上が伸張
- 新規事業のCRO分野においてクライアントの計画変更に伴い案件が延期となり、利益減

(単位:百万円)

	2016/3期 実績		2017/3期 実績		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比 増減率
	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比	
SMO事業	2,977	72.4%	3,611	73.8%	21.3%
	214	7.2%	865	23.9%	304.3%
メディカルサポート事業	472	11.5%	540	11.0%	14.4%
	72	15.3%	87	16.1%	21.2%
新規事業 (CRO、先端医療)	637	15.5%	723	14.7%	13.4%
	88	13.8%	▲5	-	-
その他事業	26	0.6%	14	0.2%	▲43.9%
	▲173	-	▲52	-	-
合計	4,114	100%	4,890	100%	18.9%
	▲480		212	4.3%	-

※各事業の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引を除き、合計では内部取引及び全社経費を控除した上、端数調整した数字を記載

■ CMAX取得を目的として新株予約権(第三者割当)を発行

- 800,000株の新株を発行(希薄化:7.53%)
- 約690百万円調達
- CMAX株式の61%取得(連結子会社化)

■ 株式交換による(株)エシックとの経営統合(2017年度実施)

- 株式交換による新株70,000株を予定(希薄化0.6%)
- エシック業績:2016/3期 売上高16億円 従業員数284名

1. 2017年3月期結果と2018年3月期見通し
2. 2017年3月期決算報告
3. **各事業概況**
SMO、CRO、メディカルサポート、先端医療事業
4. 2018年3月期経営方針および業績予想
5. まとめ

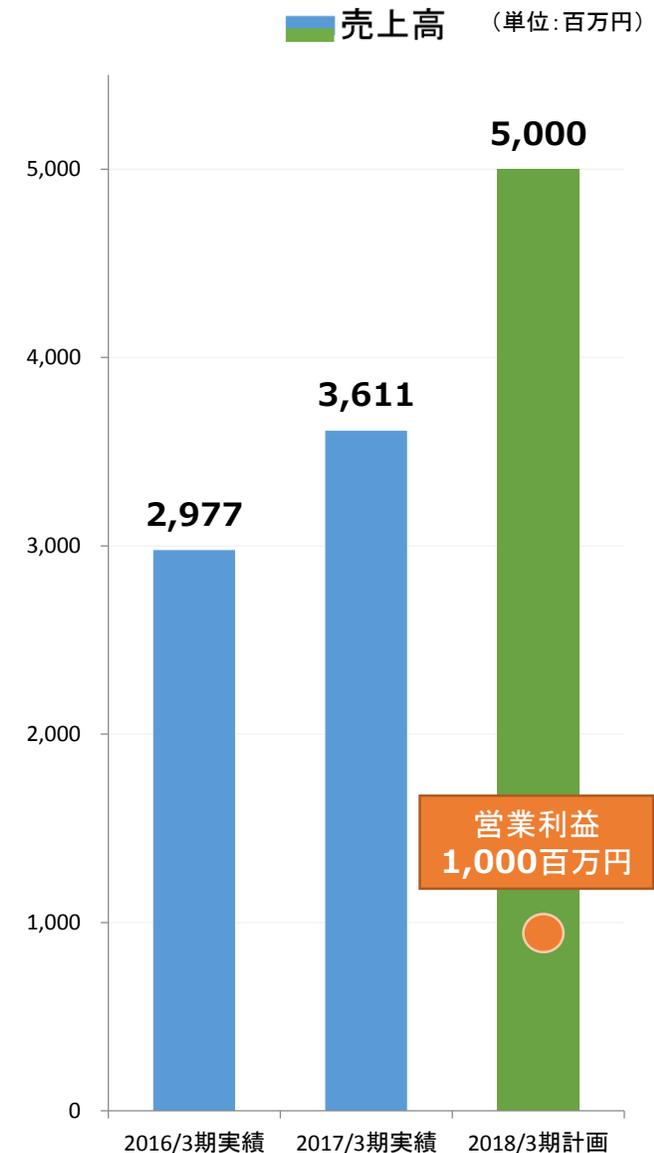
【SMO事業】 2017年3月期の振り返りと2018年3月期の取り組み

2017年3月期の振り返り

- 大学病院等の基幹病院との提携が順調に拡大し、がんや難治性疾患の新規受託が好調に推移し、売上・利益に貢献
- 適正な人員の配置と徹底した事前準備により収益力を大幅改善
- 北海道エリアの事業強化を目的としたナカジマ薬局との合併会社が本格稼働
- 国家公務員共済組合連合会(KKR)病院33施設と業務提携
- (株)エシックをグループ化する株式交換契約の締結

2018年3月期の取り組み

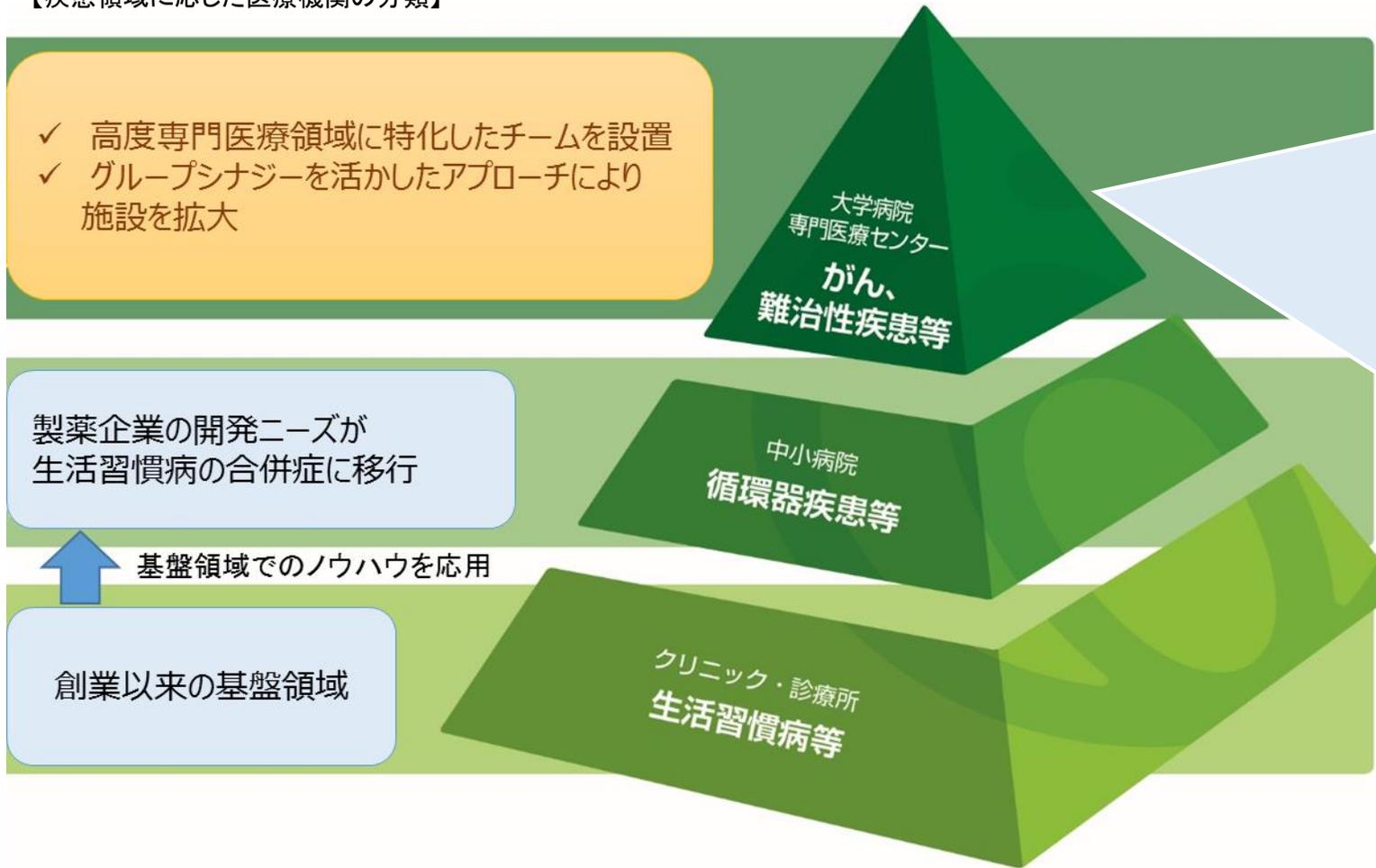
- (株)エシックのグループ化による収益の拡大と事業発展
- 高度専門医療機関における臨床試験支援の更なる拡大
- CMAXのノウハウを取り入れたグローバル人材の育成



【SMO事業】 疾患領域・施設の拡大

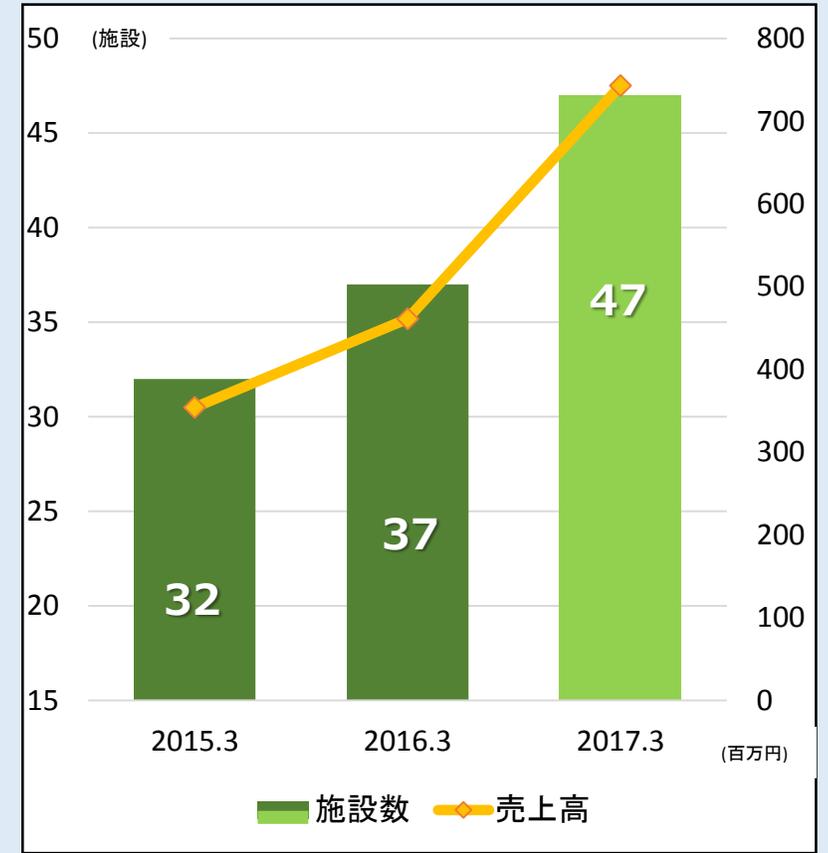
■ 高度専門医療機関への臨床試験支援業務が堅調に拡大

【疾患領域に応じた医療機関の分類】



- ◆ がんや難治性疾患等の領域の新規受託が好調
- ◆ (株)エシックが加わり、高度専門医療機関との提携が更に拡大

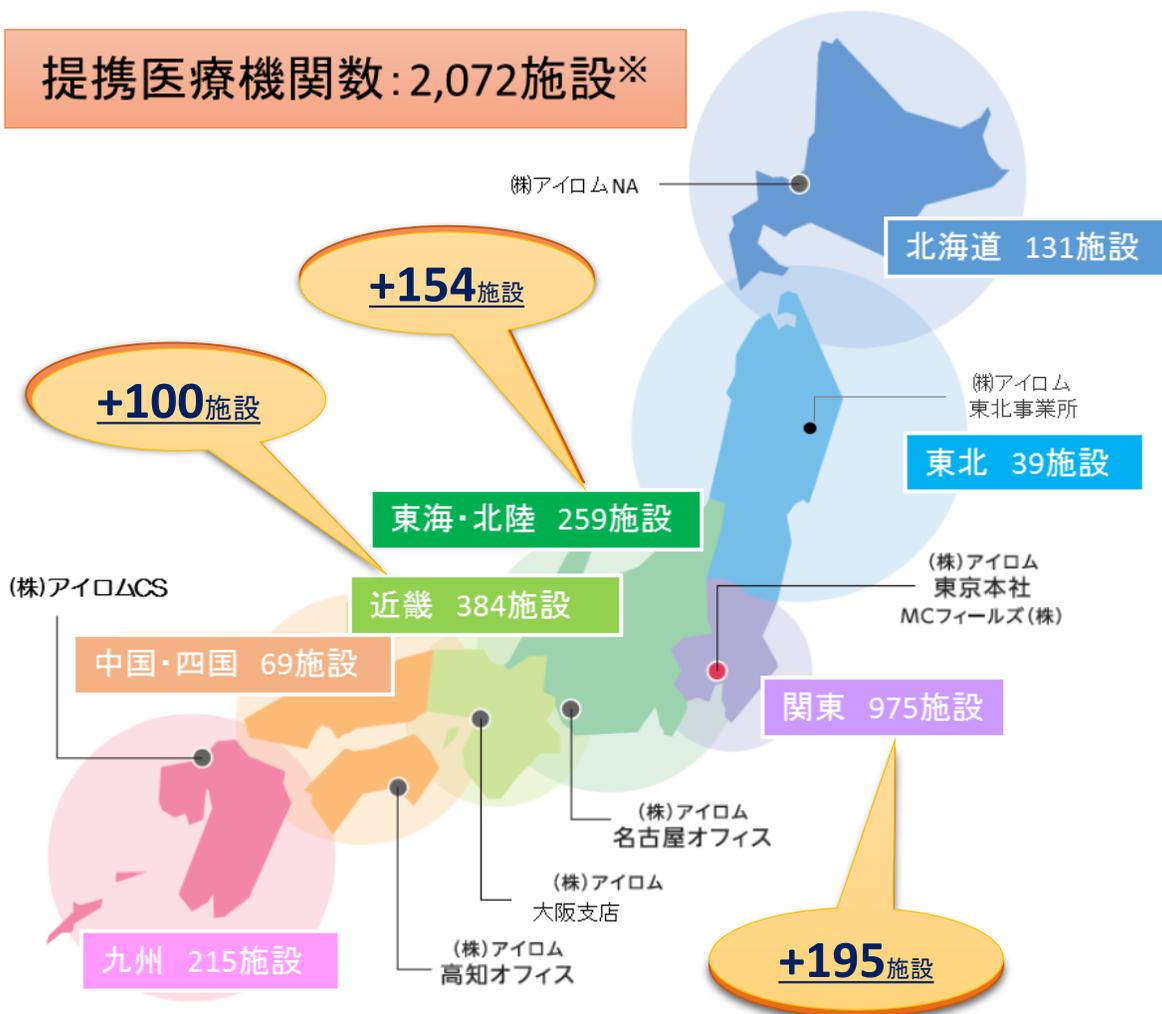
【高度専門医療領域の施設数・売上高の推移】



※上記グラフにおける売上高の推移はSMO事業売上高における大学病院・専門医療センター等の売上高を示す。なお、施設数については提携施設のうちその年に実際に治験を実施した施設の数を表す。

■多様な顧客ニーズに対応するため、戦略的なエリア展開・施設提携を進めている

提携医療機関数: 2,072施設※



◆(株)エシックのグループ化

- 関東、甲信、中部、近畿エリアを中心に施設数が増加

◆(株)アイロムNAの設立

- ナカジマ薬局株式会社との合併会社として2016年5月に設立

◆東北事業所を開設

- 拠点を設けることで、東北エリアでの更なる業容拡大を目指す

◆国家公務員共済組合連合会(KKR)と業務提携

- 連合会病院33施設における臨床試験を支援

■(株)エシックをグループに迎え、SMO事業の更なる発展を目指す



疾患領域の拡充

- 透析・腎疾患等の特異的疾患領域の強化
- 腎臓への影響を確認するための、腎障害患者様を対象としたPK試験支援の拡大



提携医療機関・エリアの拡大

- 茨城、長野、名古屋エリアを中心に、地域支援病院等の高度医療機関との提携が拡大



人材強化

- 経験豊富なCRC※がグループに加わる
- 双方のノウハウの共有により、品質を強化

※CRC: 治験コーディネーター



株式会社エシック (Ethic Co., Ltd.)



設立年月日	1984年12月	資本金	2億1,500万円
売上高	1,620百万円(2016年度)	従業員数	284名 (2017年3月31日現在)

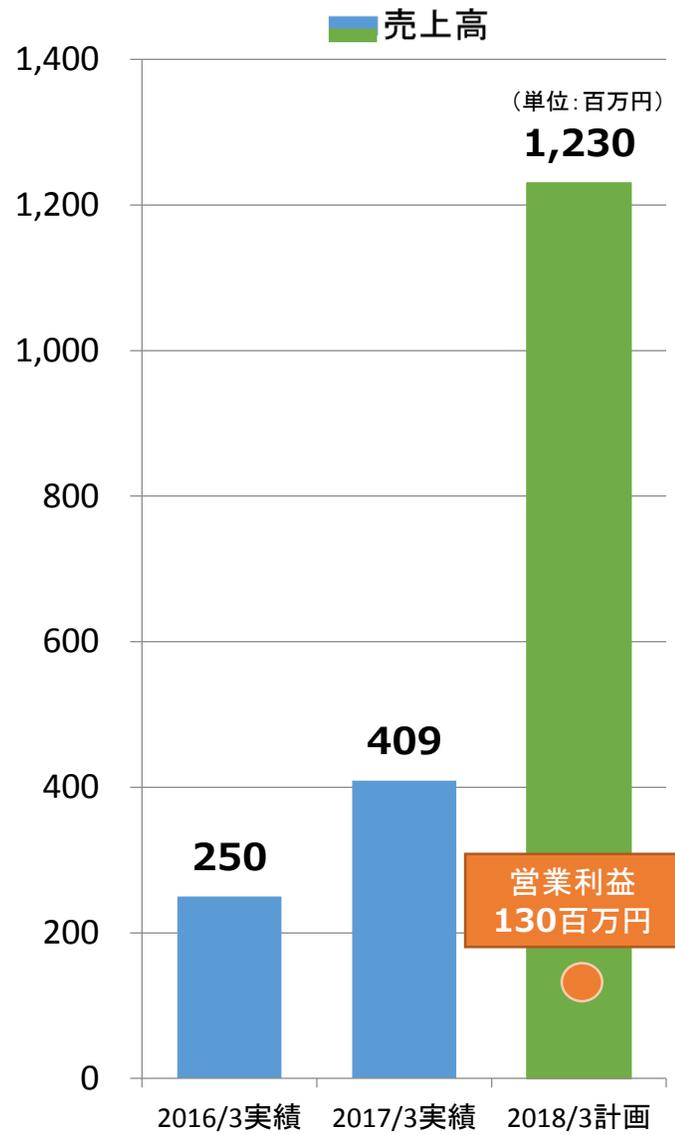
【CRO事業】 2017年3月期の振り返りと2018年3月の取り組み

2017年3月期の振り返り

- 【国内】
 - 製薬企業を中心に臨床試験支援業務を拡大
 - 先端医療製品等の開発支援の実施
- 【海外】
 - 南オーストラリア州において臨床試験実施施設を運営するCMAXをグループ化
 - 国内バイオベンチャーへのオーストラリアでの早期臨床試験支援の実施

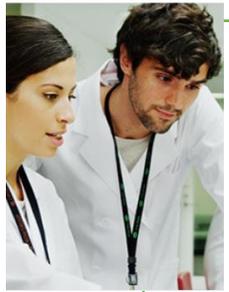
2018年3月期の取り組み

- 【国内】
 - 再生医療等製品の治験支援など、グループシナジーを活かした支援領域の拡大
- 【海外】
 - CMAXを基盤とした収益の拡大
 - 日本だけでなく、アジア・オセアニア地域の製薬企業等に対する営業活動の強化



【SMO/CRO事業】 CMAXのグループ化

■ 事業シナジーを活かしたSMO事業とCRO事業の更なる強化と発展を目指す



SMO事業の品質強化

- 効率的かつ効果的な業務プロセスの導入
- 人材交流により、CRCのスキルアップを実現



SMO事業の受注強化

- グローバルの医薬品開発動向を迅速に把握し、戦略的に医療機関の提携拡大を図る
- 南オーストラリア州におけるSMO事業の展開



CRO事業の発展

- CMAXの持つオーストラリアでのネットワークを最大限に活かし、日本をはじめ、アジア・オセアニアの製薬企業等のグローバル開発を支援

CMAX Clinical Research Pty Ltd		
所在地	南オーストラリア州 アデレード市	
設立	1993年	
経営成績 (2015年6月期)	売上高: 741百万円 営業利益: 203百万円 (79円/1AUD換算)	
ベット数	50床 (+30床)	

※当社グループは現在、CMAXの株式の61%を保有している。当該事業に対する理解を深めた後、2018年3月期中の完全子会社化を予定している。



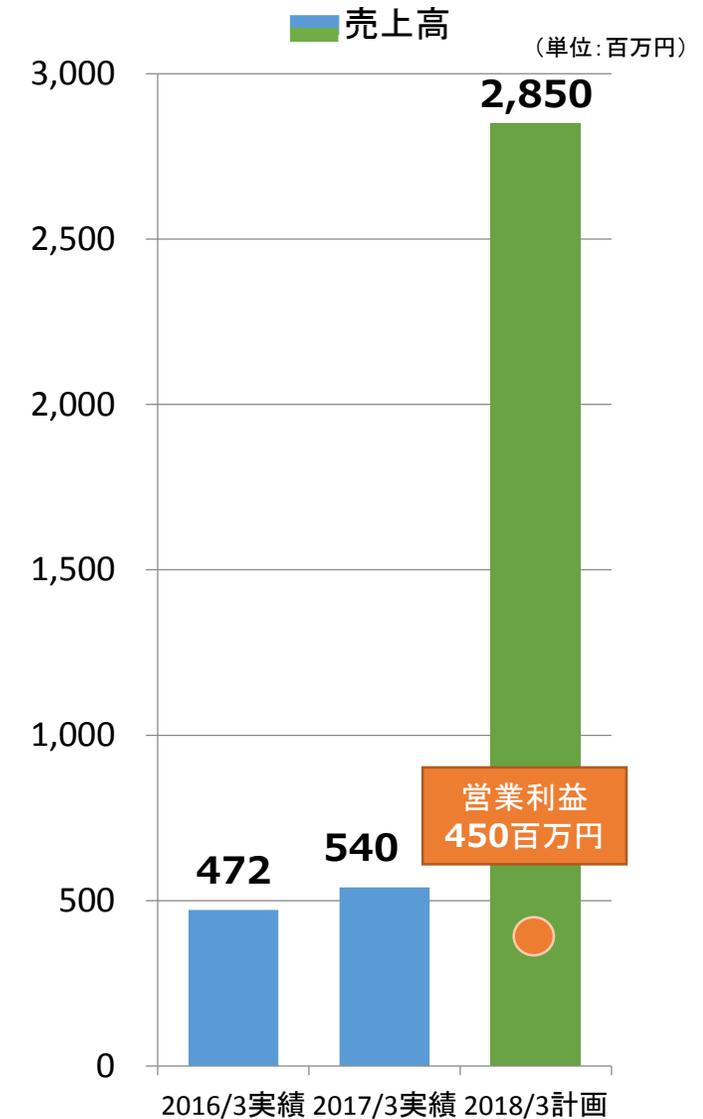
【メディカルサポート事業】2017年3月期の振り返りと2018年3月期の取り組み

2017年3月期の振り返り

- クリニックモール事業の収益拡大
- デベロッパーと取り組む販売用不動産に関わる大型プロジェクトの推進
- GMPベクター製造施設の建設支援

2018年3月期の取り組み

- モール事業の継続的な取り組み
- 販売用不動産に関わるプロジェクトを引き続き推進し、今期中の完了を目指す

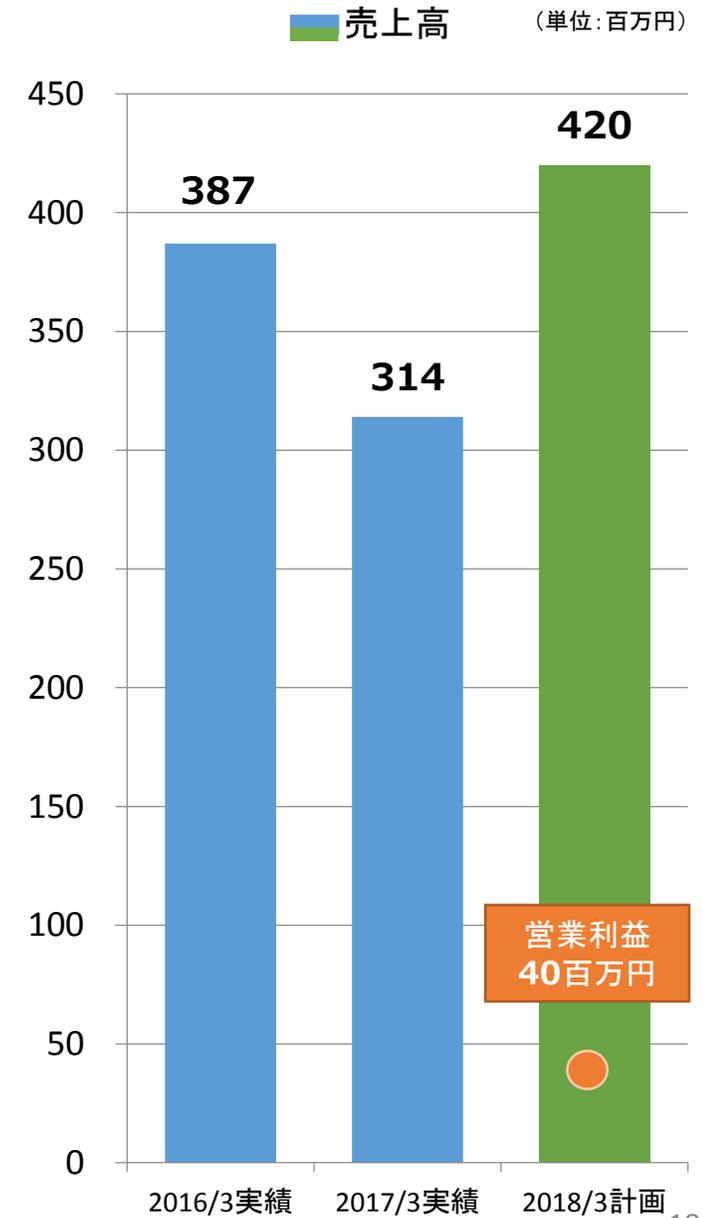


2017年3月期の振り返り

- GMPベクター製造施設・CPCの完成と本格稼働
- CPCにおいて「特定細胞加工物製造許可」を取得
- 臨床用iPS細胞作製キット『CytoTune[®]-iPS 2.0 LG』の販売を開始
- SeVを用いたiPS細胞作製に関する技術のライセンス先の拡大
- 日本・オーストラリア・中国における虚血肢治療製剤の臨床試験が進捗
- 新規医薬候補品のシーズ育成

2018年3月期の取り組み

- GMPベクター製造施設・CPCの受託製造による収益計上
- 虚血肢治療製剤をはじめとした開発候補品の臨床試験推進
- 褐色脂肪細胞技術の早期事業化に向けた開発促進
- 臨床用iPS細胞作製キット『CytoTune[®]-iPS 2.0 LG』の拡販
- SeVを用いたiPS細胞作製技術のライセンス拡大



【先端医療事業】 GMPベクター製造施設・CPC

- (株)IDファーマの知見と経験を集結したGMPベクター製造施設・CPCが完成
- 自社製品の製造に加え、医薬品製造受託機関としての活動を開始
 - ◆ 2017年3月に特定細胞培養加工物製造許可を取得し、再生医療に用いる細胞加工物の培養・加工の受託製造も開始。

【直近の製造および受託予定】

自社製品製造

- 虚血肢治療製剤(DVC1-0101)の製造
- 臨床用iPS細胞作製キット『CytoTune®-iPS 2.0 LG』の製造



CytoTune®-iPS2.0 LG

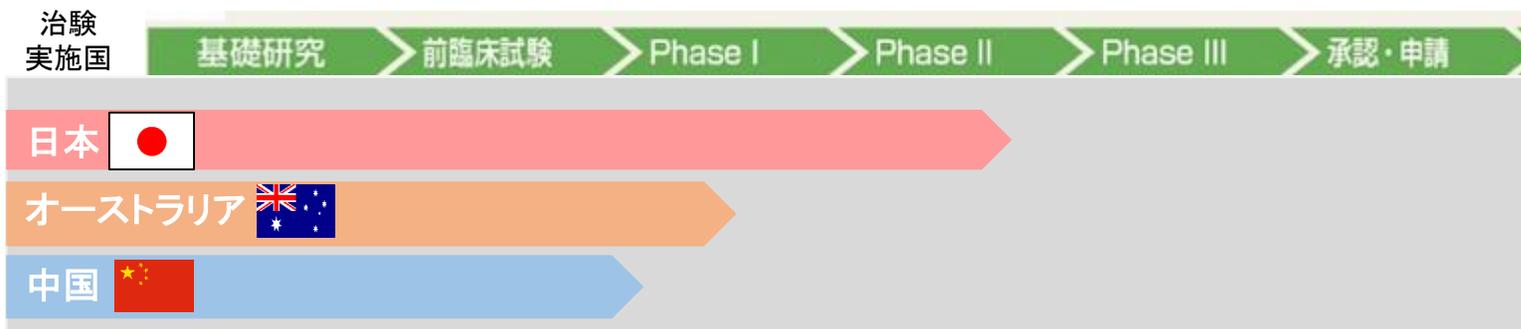
受託製造

- 【受託確定】
 - 臨床用ベクター治療製剤の受託製造
 - 臨床用ベクター試薬の受託製造(2件)
- 【受託予定】
 - 再生医療等製品・遺伝子治療製剤等の受託製造

施設内部の様子



■ 臨床試験実施各国で、開発が順調に進捗



日本

- ◆ 第IIb相臨床試験が九州大学において実施中。
- ◆ 13名の患者様への投与が完了。重篤な副作用等は報告されていない。

オーストラリア ID Pharma

- ◆ 第I/IIa相臨床試験を、CMAXにより実施中。
- ◆ オーストラリア最大の基礎医学研究所SAHMRIにて循環器疾患領域の権威であるNicholls医師が臨床試験を推進。
- ◆ 2名の患者様への投与を完了し、安全性等の問題は報告されていない。

中国

- ◆ 第I相臨床試験の許可が取得済。
- ◆ 導出先にて臨床試験用製剤の製造が開始。

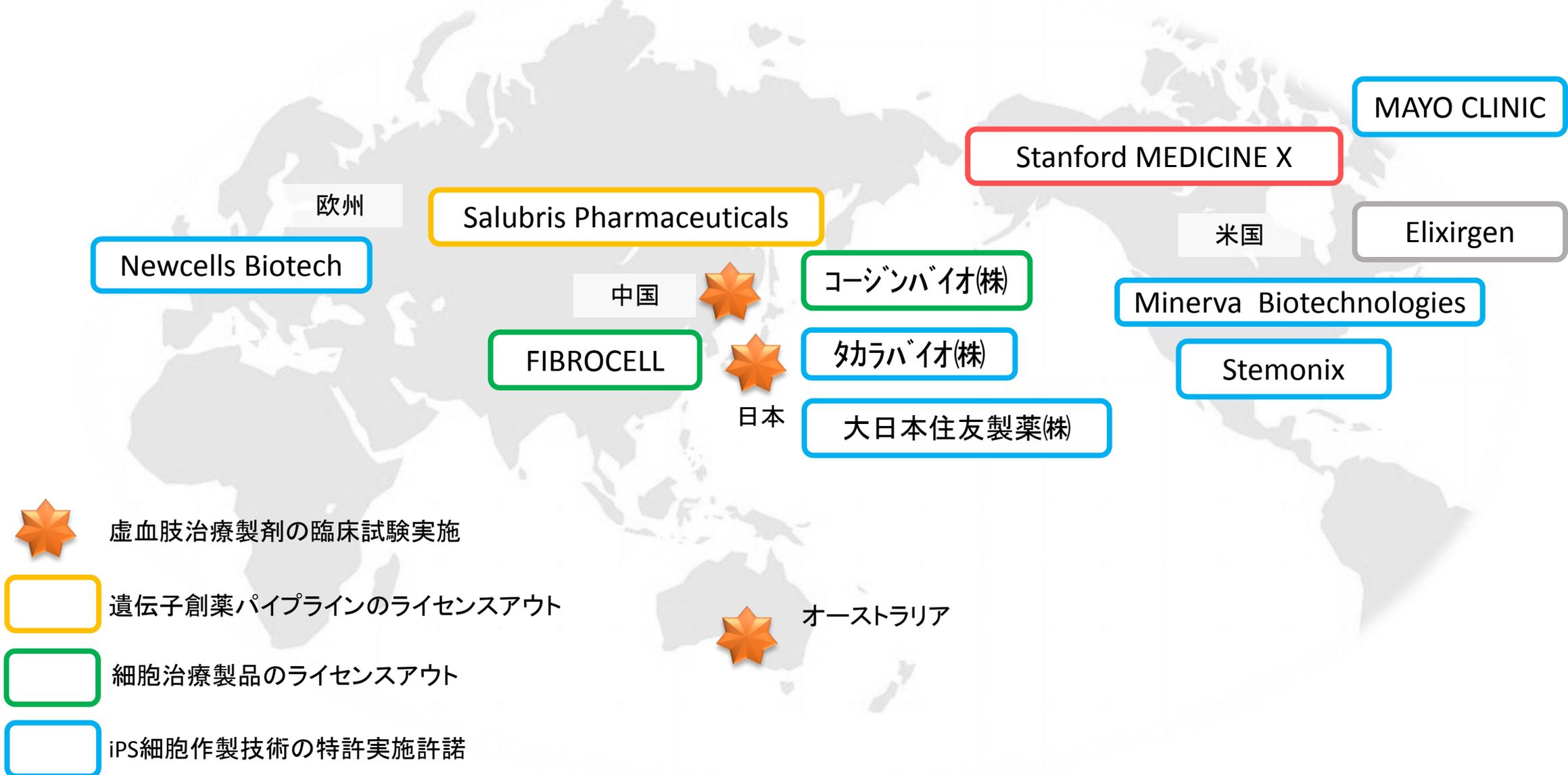
虚血肢治療製剤(DVC1-0101)

ベクター	センダイウイルスベクター (SeV)
治療遺伝子	FGF-2 (繊維芽細胞増殖因子)
対象疾患	慢性動脈閉塞症などの下肢血行障害



(株)IDファーマの事業展開

◆積極的な事業開発・ライセンス活動・業務提携等によるグローバル事業展開



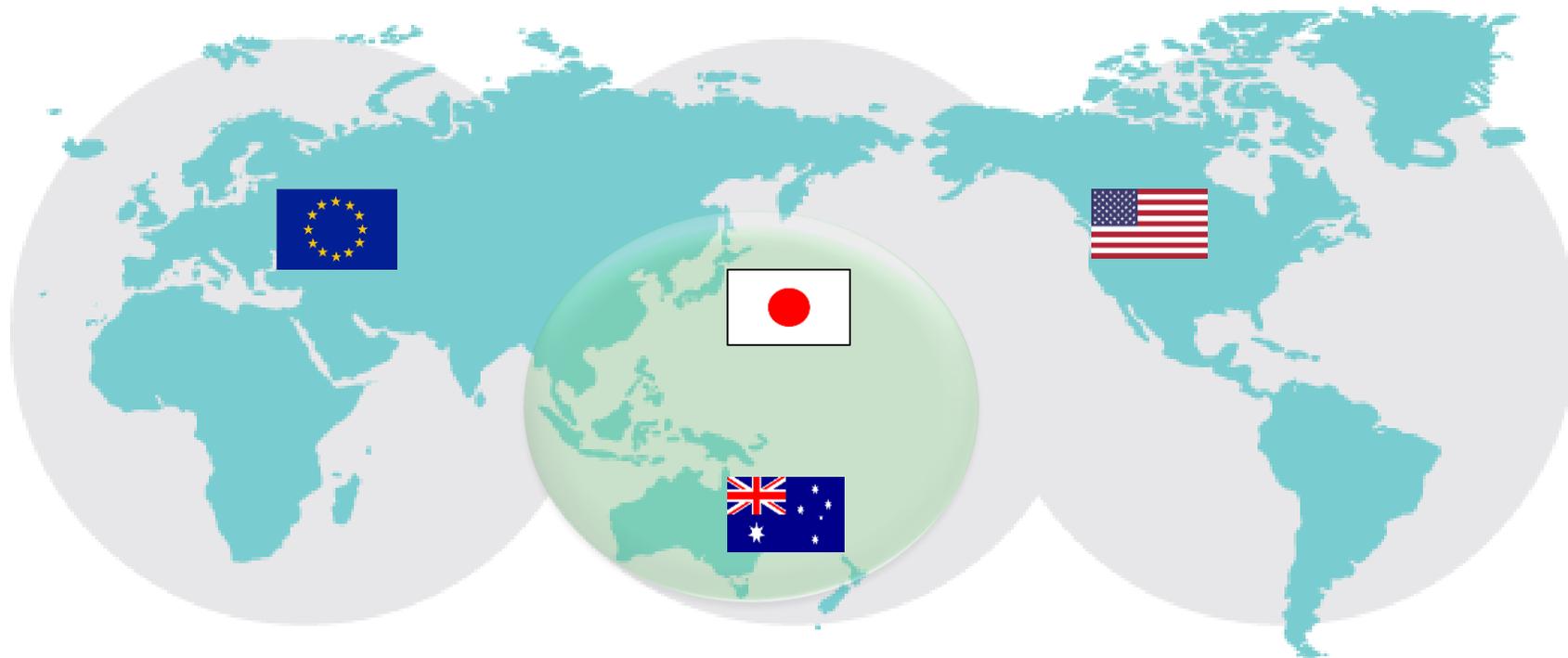
注: 上記は(株)IDファーマがアイロムグループ入りした2014年1月以降の海外展開の主要な実績であり、取引先との契約上公開できないものについては除いています

1. 2017年3月期結果と2018年3月期見通し
2. 2017年3月期決算報告
3. 各事業概況

SMO、CRO、メディカルサポート、先端医療事業

4. 2018年3月期経営方針および業績予想
5. まとめ

1. 既存事業の成長に加え、CMAX、(株)エシックのグループ化やGMPベクター製造施設・CPCの本格稼働により、**増収・増益**を見込む
2. アイロムグループ各社の連携と体制強化、人材育成に注力
3. グループシナジーを活かしたグローバル展開を加速



2018年3月期: 通期業績予想

- CMAX、(株)エシックの連結寄与
- GMPベクター製造施設・CPCの本格稼働
- メディカルサポート事業における販売用不動産に関わるプロジェクトの完了を見込む

(単位:百万円)

	2017/3期 実績	2018/3期 予想	売上高比	前期比増減
売上高	4,890	9,500	100%	94.3%
営業利益	212	800	8.4%	277.4%
経常利益	272	800	8.4%	194.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	204	500	5.3%	145.1%

2018年3月期 通期セグメント別業績予想

■ 通期業績予想は、全セグメントで売上・営業利益を拡大

(単位:百万円)

	2017/3期 実績		2018/3期 予想		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前期比 増減率
	営業利益	売上高比	営業利益	売上高比	
SMO事業	3,611	73.8%	5,000	52.6%	38.4%
	865	23.9%	1,000	20.0%	15.6%
メディカルサポート事業	540	11.0%	2,850	30.0%	427.7%
	87	16.1%	450	15.8%	417.2%
CRO事業	409	8.3%	1,230	13.0%	200.7%
	※	※	130	10.6%	※
先端医療事業	314	6.4%	420	4.4%	33.7%
	※	※	40	9.5%	※
新規事業合計	723	14.7%	※	※	※
	▲5	-	※	※	※
合計	4,890	100%	9,500	100%	94.2%
	212	4.3%	800	8.4%	277.3%

注:各事業の売上高及び営業利益はセグメント間の内部取引を除き、合計では内部取引及び全社経費を控除した上、端数調整した数字を記載

※ 2017年3月期のCRO事業と先端医療事業の営業利益は公表していないため記載していない。2018年3月期の業績予想はCRO事業および先端医療事業の各セグメントの数値を公表したため、新規事業の合計は記載していない。

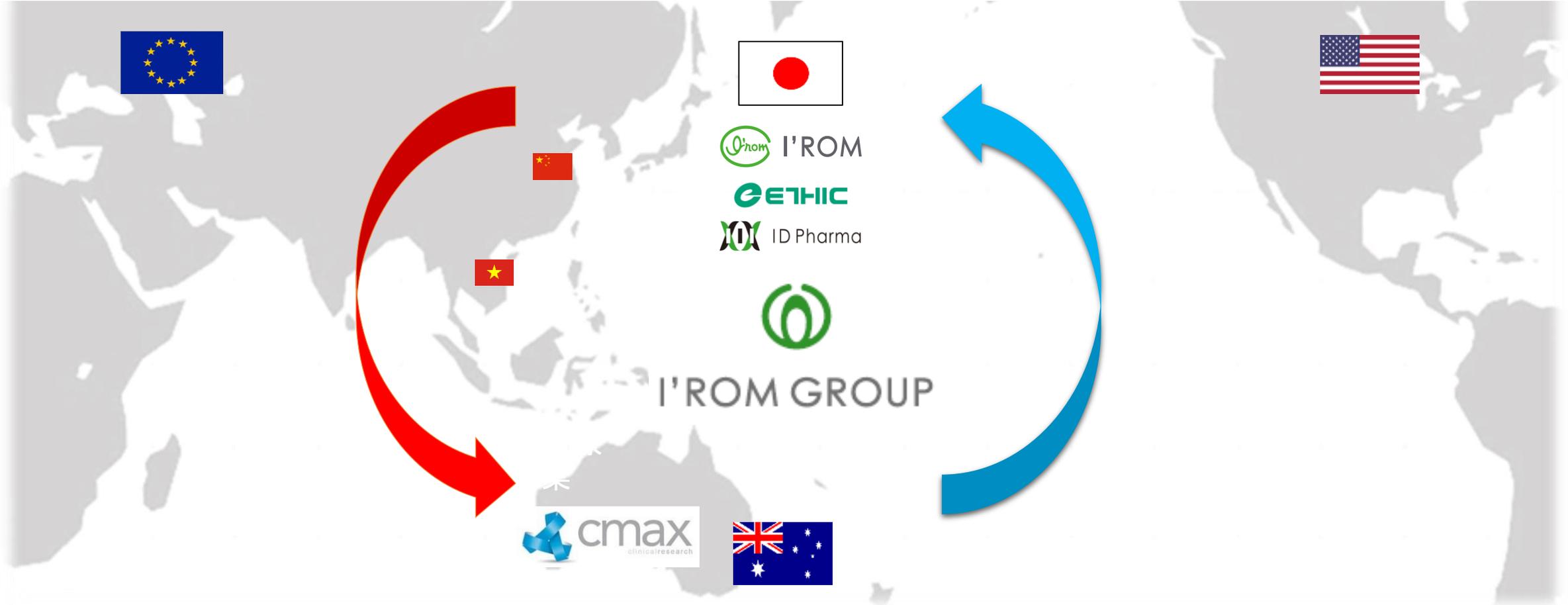
1. 2017年3月期結果と2018年3月期見通し
2. 2017年3月期決算報告
3. 各事業概況

SMO、CRO、メディカルサポート、先端医療事業

4. 2018年3月期経営方針および業績予想
5. **まとめ**

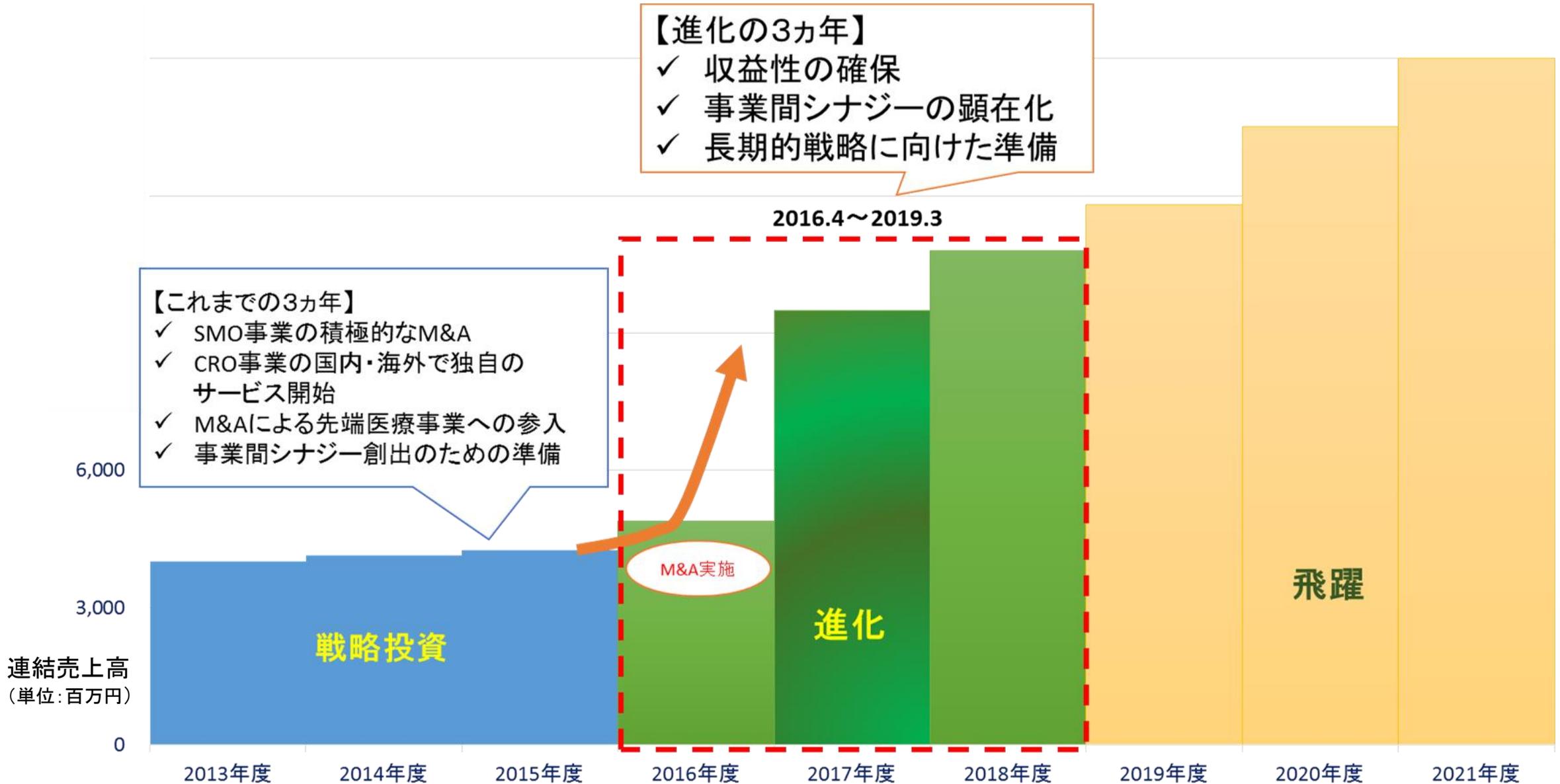
グループのシナジーとグローバル化の強化

- CMAXと(株)エシックのグループ化により、事業発展を加速
- 時差の少ないアジア・オセアニア地域のネットワークを活用し迅速なグローバル開発に貢献



- ◆ 連結収益の向上
- ◆ 各事業間のシナジーを活かし、グローバルでの医療技術・医薬品の開発に寄与

◆戦略投資が順調に成果を見せている。収益基盤を確立し、今後の更なる発展を目指す。



資料取扱い上の注意

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点での入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。
- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接又は間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。

【IR問い合わせ先】
株式会社アイロムグループ
CEOオフィス： 渡辺/小島
TEL: 03-3264-3148